

授業科目	保育内容「環境」(CD クラス)				単位	1				
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士			ナンバリング	CH11211J			
開講年次	1年	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP5-2 DP5-3					
担当教員	末寄 雅美									
授業概要	<p>子どもは、身の回りの様々な環境に対し好奇心や探求心をもって関わるが、そこでの様々な経験や遊びについて考える。具体的には、どのような環境に子どもが関わって活動を生み出すのか、幼児期にふさわしい生活を送るための環境とはどのようなものか、子どもの発達における環境の意味とは何かについて明らかにする。</p> <p>なお、この講義では実技を含めた授業も行う。実技のある日は、講義開始時に告知する。</p>									
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域「環境」のねらい及び内容を理解している。 2. 領域「環境」のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点を理解している。 3. 幼稚園教育における評価の考え方を理解している。 4. 領域「環境」において、幼児が経験し身につけていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。 5. 幼児の認識や思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。 6. 領域「環境」の特性や幼児の体験との関連を考慮した教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。 7. 環境を通じた遊びが、子どもの発達にどのような影響を与えるのか、どのような環境設定がふさわしいかについて理解する。 8. 遊びの楽しさを伝えられる保育者になる 									
達成度評価										
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	0	0	35	5	50	10	100			
知識・理解 (DP1-1)										
知識・理解 (DP1-2)			15		20		35			
知識・理解 (DP1-3)										
知識・理解 (DP1-4)										
思考・判断 (DP2-1)										
思考・判断 (DP2-2)										
関心・意欲 (DP3-1)										
関心・意欲 (DP3-2)										
態度 (DP4-1)										
態度 (DP4-2)										
態度 (DP4-3)										
技能・表現 (DP5-1)										
技能・表現 (DP5-2)			20		30	5	55			
技能・表現 (DP5-3)				5		5	10			
具体的な達成の目安										
理想的レベル					標準的なレベル					

1. 子どもの発達と環境の関わりについて熟知し、保育活動において、育ちを促す環境設定を自発的に作り出すことができる 2. 環境遊びへの関心を高め、幼児期にふさわしい科学遊びや野外遊びなどの技術を身につけ、実践できる		1. 保育者の「環境設定」がどのようなもので、どんなねらいをもつか、といった視点を持ち、保育活動を観察できるようになる 2. 保育における環境の様々な意味合いについて理解する 3. 環境遊びの技術を身につけ、遊びが楽しいものであることを実感し、積極的に子どもに提供できるような人物となる		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション:この授業の進め方について 5領域における「環境」について、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」における領域「環境」とは	講義(「幼稚園教育要領」を持参すること)	幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領における「環境」を読んでおくこと	60
2	保育の基本としての「環境」(1) 幼児期にふさわしい生活の展開と環境設定	講義	幼稚園教育要領における「環境」の該当箇所を読み、自分なりに理解しておくこと。 復習としてワークシート(1)を仕上げる。	30
3	保育の基本としての「環境」(2) 具体的事物との関わりと子どもの発達	講義	幼稚園教育要領における「環境」の該当箇所を読み、自分なりに理解しておくこと	30
4	保育の基本としての「環境」(3) 身近な物への関心、動植物といのちの尊さ	講義	ワークシート(2)の作成	30
5	環境遊び・子どもと自然(1) 五感を育てる遊び・プレーパークについて	講義	配布プリントを読んでおくこと	30
6	環境遊び・子どもと自然(2) 屋外でできる自然を用いた簡単な遊びの技術を身につける	演習、屋外で行う (天候次第で変更あり)	ワークシート(3)の作成	30
7	環境遊び・子どもと自然(3) 季節遊び・野外遊びを楽しむ	演習、屋外で行う (天候次第で変更あり)	ワークシート(4)の作成	30
8	環境遊び・科学遊び(1) 保育現場における科学遊びの実践	講義・演習	配布プリントを読んでおくこと	30
9	環境遊び・科学遊び(2) 身近な材料を使って科学遊びを行う	演習、必要な材料は前もって知らせるので準備しておく	今回行った科学遊びがどんな場面で活かせるかを考える。 指導案を作成する。	90
10	環境遊び・室内でも出来る環境遊び リサイクル材料と環境	講義	配布プリントを読んでおくこと	30
11	環境遊び・室内でも出来る環境遊び 文字や数字、図形に親しむ遊び	講義、演習	配布プリントを読んでおくこと	30
12	生活や地域に関わる情報に親しむ(1) (認定絵本土講座「ホスピタリティに学ぶ」) 地域の実践事例を学ぶ「いとうづの森公園」(外部講師)	講義・演習	外部講師による講義のまとめ、感想レポートの作成	60
13	生活や地域に関わる情報に親しむ(2) 地域・近隣の環境をマップにする	演習	ワークシート(5)の作成	60
14	生活や地域に関わる情報に親しむ(3) 近隣地域への園外保育を指導案にする	演習	指導案の作成	60
15	保育における環境設定とは、まとめ	講義	期末レポートの提示	120

16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>子どもを取り巻く環境や、園の環境(人的・物的)にどのような配慮がなされているかについて関心を持っておく 環境遊びを楽しめる意識と相応しい格好などを身につけておく</p>			
テキスト	<p>特になし</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>授業内で適宜連絡する</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>この授業で学んだ遊びの技術を実習等で活かして欲しい。また、積極的に外で遊べる保育者になって欲しい。</p>			
達成度評価に関するコメント	<p>授業内で指示する提出物(ワークシート5枚、感想文、指導案)は、それぞれ点数化(3-10点)し評価に加えるため、毎回きちんと期日までに提出すること。 期末レポート課題については必ず提出すること。 「その他」では、授業への積極的な参加態度や発言を評価する。</p>			